

伝文

日本口承文芸学会会報

第4号 1989年3月

発行 日本口承文芸学会
〒114 東京都北区西ヶ原4-51-21
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所内川田研究室気付
電話 03-917-6111 内線 384
(水曜日午前10時～午後5時まで)

雑 感

関 敬 吾

僕は今、外に出ないので、雑誌を読むくらいだけになってしまったから、新しい研究の仕方というのは、よく分らない。それでも、いくつか考えていることはある。

・昔は子どもたちに昔話を語って聞かせていた。それがだんだん本を読んであげるようになってきた。そうしているうちに、今は、母親たちが語り聞かせをするようになってきた。そういうグループがいくつもある。そうしてみると、新しい時代の語り方があるのではないか。語りの場が大きく変ってきたように思える。

・僕は実際の語りの場を訪ねるといことは少なかった。僕が小さいころ聞いたのは島原半島の漁村の話だった。漁村の話と山村の話は違うと思う。そういうものの見方で研究する必要があるのではないだろうか。

・昔話の中に出てくる慣習は今ではなくなってしまったものが多い。その慣習を復元しなければ、昔話を語っても子どもには分らない。かつては、慣習を話の中に織り込んで子どもに知らせたのである。それが教育であって、教育というものは、生活の仕方を教えることであつた。だから教育に話を利用した。それで話と生活が結びついていたと考えられる。元はこれが多かつたのではないだろうか。

・物事の背景を探ることも重要。例えば、僕をあるところでは“民俗学者”といい、別なところでは“民族学者”という。これをどう解釈するか。それを推理する。どちらにしても使う側の背景があるわけである。

(1989年1月17日談話、記 編集部)

第6回理事選挙結果報告

北海道・東北地区(3名)	井上 隆明	武田 正	戸川 安章	
関東地区(4名)	田中 宣一	常光 徹	成田 守	藤井 貞和
東京地区(8名)	飯豊 道男	伊藤 清司	白田 甚五郎	大島 建彦
	大島 広志	大林 太良	川田 順造	野村 純一
中部地区(2名)	石川 純一郎	藤井 知昭		
近畿地区(4名)	福田 晃	松前 健	真鍋 昌弘	三原 幸久
中国・四国地区(2名)	白石 昭臣	田中 瑩一		
九州・沖縄地区(2名)	荒木 博之	小島 瓊禮		

(五十音順)

日本口承文芸学会第6回理事選挙管理委員会

第1回研究例会「伝説の周辺」

間宮史子

1988年度第1回研究例会は、88年10月15日に開催された。報告者は宮廻和男氏と遠藤庄治氏。司会は川田順造氏である。「伝説の周辺」というテーマで、昔話との関係から「伝説」に迫る報告がなされた。

宮廻報告は、「四つの伝説—ロシア・フォークロアにおけるジャンルとスタイルの問題」。ロシアの口承文芸における散文文芸の中で、昔話と伝説の異相を明らかにした上で、昔話に対する伝説の特徴を、話の場所と時間という側面から考察した。この側面からみると、伝説に近いといわれる

日本の昔話はどうなるのか、という問題が提起された。

遠藤報告は、「沖縄の口承文芸における伝説の位置」。昔話と伝説を比較するための資料として、粟国島の伝承を用い、その中で、昔話の話型で伝説的性格を持った話、他地域では伝説的性格を帯びて伝えられる話、昔話の伝説化に参考となる話、を示して、沖縄の口承文芸における伝説の位置を、昔話との関係で明らかにした。

報告後、フロアと報告者間で活発な質疑応答がなされた。
(茨城県つくば市)

< 比較研究と資料収集 > 「世界民間伝承文献集成」の紹介

竹原威滋

日本における昔話研究は、『大成』と『通観』の刊行によって、口承資料の整理期を経て、東アジアの口承文芸との比較研究の時期にさしかかっているといえよう。しかしながら、日本においては、口承文芸の公的な資料館がないので、比較研究といっても、個々の研究者の手持ちの資料による不完全な研究に終わりがちである。

そもそも、比較研究というものは、近隣諸国間においては系統比較を行い、その伝播・伝承関係を明らかにし、また、遠い国どうしでは対照比較を行い、文化の類型などを明らかにすべきである、と私は考える。しかし、このような比較研究はもはや個人の資料と個人の言語能力を越えている。資料の交換、共同研究がどうしても必要となろう。

例えば、ドイツ、ゲッティンゲンの昔話資料館（正確には『昔話百科事典』編集所）では、ヨーロッパを中心とした世界の口承文芸資料を約50万話収集し、それをA T番号などによって分類し、保管している。しかも、ロシア語など東欧語による資料には翻訳文（独語）をつけている。同資料館には四人の専任研究員と専任秘書のほか、10人の補助研究員がいて、資料収集、話型分類、各国研究者への情報サービスを行っている。

日本にも東アジアを中心とする口承文芸の資料館が設置されてもおかしくないであろう。しかし、それもまだまだ実現しそうでないので、各大学や研究機関においてそれぞれ特色ある資料を所蔵し、

情報を提供しあうことが先ず必要であろう。

さて、奈良教育大学に「世界民間伝承文献集成」（マイクロフィルム820リール）が所蔵されることになった。『ドイツ民間信仰大事典』全10巻と『グリム昔話注釈書』全5巻に掲載された文献目録に基づく民俗学の膨大なコレクションである。現在、日本では入手困難な民間伝承の文献が収録されている。書名にして、約四千点。ジャンルというと、昔話、伝説、神話、動物寓話、謎、諺、バラード、民謡、童謡などの口承文芸から民間信仰、民間医療、占星術などにも及んでいる。地域としては、初期のは、英、独、仏、西などヨーロッパが中心だが、最近のものは、北米、南米、アフリカの資料も収められている。

以下、具体的な資料を少し列挙してみたい。定期刊行物として、各国の民俗学雑誌や地誌のバックナンバーが入っている。例えば『ドイツ民俗学雑誌』1-54巻（1887-1940）が18リールに収められている。古典的な文献説話は、イソップ、千一夜物語、黄金伝説（羅）、バジーレ（伊）、チャーサー（英）、グリム（独）のものがあ、また口承説話集としては、ハーン（希）、コスカン（仏）、ジェイコブス（英）、アフナーシェフ（露）のものが入っている。民俗学の著作としては、フレーザー（英）、ジュネップ（仏）から柳田国男のものまで収められている。

近く、同文献集成の目録を作成する予定である。

全国大学共同利用図書なので、本学会員も大いに利用して頂きたい。連絡頂けば、目録を頒分します。利用については奈良教育大学附属図書館

(電話 0742-26-1101)へ連絡願います。

(大阪市)

《仲間たち》

山形民話の会

武田 正

関敬吾先生が『日本昔話集成』を編纂された頃には、山形は昔話の空白地域だとされていた。そのことを改訂してもらうために、『牛方と山姥』の語り手海老名ちゅうさんを紹介しなければならぬし、美しい語りで聞き手をうならせた近きよさんを知ってもらいたいと思った契機から、ガリ版の小冊誌を作ったのが昭和48年5月のことであった。号を追うごとに欲が出て、近代文学研究家の松坂俊夫氏を引き込んで井上ひさしと民話を論じてもらったり、木下順二の「二十二夜待ち」を書いてもらった。そして10号の記念号には野村純一氏などの研究者、故瀬川拓男、須藤克三氏のような児童文学者も加わってもらった。版画界の長才菊地隆知氏が表紙を創ってくれたこともうれしかった。

若くして逝ってしまった佐藤義則氏が欠かさず寄稿してくれたこともあって、隔月刊がともかく守られ、エンピツを甜めなめ寄稿してくれた近きよ、川崎みさを、土田まさ江唄などに力づけられて、どうにか110号まで辿ってきた。民話の話者と研究者と児童文学者を結びつけて、民話の「伝承」を考えて行くというのが、ひそかなねらいである。全く1人の仕事として出発した会が、会員120名を擁し、私1人ではもうやめるわけに行かなくなったことを、今おそれているところである。

佐藤隆三『安楽城の伝承』三巻、高橋良雄『及位の昔話』五巻がガリ版で、民俗学会で活躍する大友義助、児童文学の佐々木悦、児童文化の烏兎沼宏之、口承文芸研究の石井正巳、高木史人、酒井董美などの仕事を仲間を紹介できることをうれしく思っている。原稿を送っていただければ、どなたでも会員としてお迎えするというのが会の約束であるが、最近では事務局1人の力に余ることもあって、頭をいためているところである。

(連絡先：山形県南陽市赤湯 3180-4 武田正方)

《こえ》

昔話で育つ子ら

恒松多美子

朝の9時、鐘の合図でその日の保育が始まる。遊戯室に集った子ども達のわらべうた・遊びうたが終わると私の語りである。新潟県水沢謙一編の「おばばの昔話」から選ぶ。方言や語り口が楽しく子ども達は好む。新潟弁まがいの中途半端なもので、新潟の人に笑われてしまいそうだ。

「あったてんがな」で始まり、「いきがさけた」で語り終え、話の途中にも「……だてんがな」など耳なれない新潟弁が、話の筋と共に子どもには心地よく聞こえるらしい。

たんとと語る私の話にどの子どももうっとり聞き入る。聞き入りながら情景を思い浮かべているのが表情から窺える。

その日に聞いた話を手づくり絵本ノートに線がきで絵にする。空想の世界で戯れながらせせと絵にしていく。毎日の積み重ねの中で、聞いた話を絵にする楽しみを身につけている。以前に聞いた話の人物を登場させ話の中に結びつけて楽しみながら歩いていく。そして空想性に富んだ話をどの子も存分に聞かせてくれる。

空想力が豊かに育っている子どもたちである。秋の運動会の日朝、芝の中で遊んでいる虫を見た子らが「あっ、運動会じゃけ見に来とる」とか早朝軒下にぶら下げられたちょうちんに「夜のうちにキツネさんがちょうちんつけにきとる」(キツネのちょうちんの昔話)など日常生活の中でもこんな会話が交わされる。

昔話を通して豊かな空想力と共に聞く・話す力がついてきている。そして思いやる心も……。Aちゃんは昔話がいっつか語られ田舎の祖母に寝床の中で語って聞かせるそうである。Bくんは雨の日傘がたためない年下の子に「まっとれよ後でたたんでやるけえの」と優しく言葉がける。

この子らが小学校へ入学して、先生の話がしっかり聞けること、作文力があることを伺うとさまざまな苦勞を忘れてしまう私である。

過去、厚い壁からはみ出すことを許さなかった公教育の中でできなかったことを存分にやってみたいと今でも意欲を燃やし続けている。

(広島県広島市くすのき幼稚園長)

新刊リスト

- 呪術・儀礼・俗信—ロシア・カルパチア地方のフォークロア P. ボガトウイリョーフ 千野栄一訳
岩波書店 88. 2
- 自分の中に歴史を読む ちくまプリマーブックス15 阿部謹也 筑摩書房 88. 3
- 字部国文研究第19号 字部短期大学国語国文学会 88. 3 (寄贈)
- フランス田園伝説集 ジョルジュ・サンド 篠田知和基訳 岩波文庫 岩波書店 88. 7
- 日本の幽霊 諏訪春雄 岩波新書 岩波書店 88. 7
- 怪談の科学(幽霊はなぜ現れる) ブルーバックス 講談社 88. 7
- 神話・伝承事典 B. ウォーカー 山下主一郎訳 大修館 88. 7
- 富山県東砺波地方昔話集 国学院大学民俗文学研究会 88. 8
- 鳥になった少年 S. フェルド 山口・ト田他訳 平凡社 88. 8
- 鳥屋の梯子と人生はそも短くて糞まみれ(ドイツ民衆文化再考) アラン・ダンデス 新井浩士
平凡社 88. 8
- ノウルーズ 浜畑祐子(『オリент』第31巻第1号抜刷) 88. 9 (寄贈)
- 老人の知恵に学ぶ— 戸井町瀬田来と津軽のことわざについて — (函館大妻高等学校研究集録「おお
つま」第2号抜刷) 88. 9 (寄贈)
- 『日本昔話通観』第28巻 昔話タイプ・インデックス 稲田浩二 同朋舎 88.9
- 民話の手帖・秋(№37) 日本民話の会 国土社 88. 10 (寄贈)
- 消えるヒッチハイカー: 都市の想像力のアメリカ J. プルンヴァン 大月, 重信, 菅谷訳 新宿書房
88. 10
- 民話の表現 田中瑩一編 教育出版センター 88. 11
- 靈魂の民俗学 宮田登 日本エディタースクール出版 88. 11
- 日本民俗文化資料集成『妖怪』第8巻 谷川健一責任編集 三一書房 88. 11
- シベリヤ民話集 斉藤君子編訳 岩波文庫 岩波書店 88. 12
- 福島高女民話集 民話と文学の会編 ふるさと企画 88. 12 (寄贈)
- ロシアの神話 F. ギラン 小海永二訳 青土社 88. 12
- 正志と長の民話 立石憲利 手帖社 89. 1
- 妖怪と美女の神話学— 山姥・天女・神女のアーケオロジー 吉田敦彦 名著刊行会 89. 1
- 江戸怪談集(上) 高田衛編・校注 岩波文庫 岩波書店 89. 1
- ことばの古代生活誌 古橋信孝編 河出書房新社 89. 1
- 西洋中世の罪と罰 阿部謹也 弘文堂 89. 1
- 中国神話 中島みどり訳注 東洋文庫 平凡社 89. 2
- ことばを追って 西江雅之 大修館 89. 2
- 時間の民俗学・空間の民俗学 福田アジオ 木耳社 89. 2
- 民間説話 福田晃編 世界思想社 89. 3
- いろひろせ物語— 越後・入広瀬村の昔話と民俗— 水沢謙一 国土社 89. 3
(お願い— 会員の皆様の刊行物, 論文等を御寄贈下さい)

日本口承文芸学会への入会希望者は入会申込書をご請求ください。入会金1,000円, 年会費4,000円。
入会申込書請求・送金先: 〒114 東京都北区西ヶ原4-51-21 東京外国語大学アジア・アフリカ言語
文化研究所川田研究室気付 日本口承文芸学会事務局(TEL. 03-917-6111 内線 384・水曜日午
前10時~午後5時まで) 振替: 東京-44834

The Society for Folk-Narrative Research of Japan, c/o Prof. Junzo Kawada, Institute
for the Study of Languages and Cultures of Asia and Africa, Tokyo University of Foreign
Studies, 4-51-21 Nishigahara, Kitaku, Tokyo, 160, Japan.

口承文芸に関心のある方を広くご紹介ください